

平成31年度 学校法人福山大学事業計画

平成30年12月20日

I. 事業活動の重点

学校法人福山大学は、近時少子化に伴う18歳人口の減少、大学全入時代の到来等、社会情勢の変化に伴い、法人活動を営むにあたって相当厳しい状況を迎えているといっても過言ではない。

福山大学及び福山平成大学においては、これまで学科改組・名称変更、成績優秀者に対する授業料の減免措置、建物等修学環境の整備、国外協定校からの留学生の確保及び入学定員の適正化等の施策を講じてきており、ここ数年、入学者数の回復の兆しはあるものの、依然として受験者数及び定員の充足率において不本意であり、平成31年度も受験者及び入学者を確保することについて喫緊の重要課題として引き続き取り組む必要がある。

また、問題解決のため、受験者及び入学者確保並びに卒業生の就職先の確保及び高水準の就職率維持のための方策、教育システム並びにICTによる修学環境の充実・推進、高大連携の強化、施設・設備の充実等を含め、高校生等に魅力ある大学として様々な課題に対し、主体的かつ機動的に対処し、学校法人福山大学の経営基盤の強化のため、中・長期財政計画の達成を目指す。

II. 事業計画の主要項目

1. 平成31年度学校法人福山大学諸行事の実施
2. 受験者、入学者の確保施策の推進
3. 広報活動の強化
4. 大学教育改革等の推進
5. 学生のICTによる修学環境の充実
6. グローバル化の推進
7. 施設・設備の整備、充実
8. 地域社会との連携推進
9. 教育・研究支援のための寄付金募集活動の推進
10. 長期ビジョン委員会による将来構想の継続的審議の推進
11. 既設学科の入学定員並びに収容定員の変更
12. 法人運営の充実

III. 事業計画の内容

1. 平成31年度学校法人福山大学諸行事の実施
別紙「平成31年度学校法人福山大学諸行事の日程」のとおり
2. 受験者、入学者の確保施策の推進
 - (1) 入試戦略委員会による入学者増のための施策の策定
 - (2) 特色ある学部、学科づくりのための教育システムの推進
 - (3) 学生のキャンパスアメニティの整備及び学内諸施設の改修
 - (4) AO入試、大学入試センター試験利用入試の継続実施
 - (5) マスコミ及び学校法人福山大学宮地茂記念館等を活用した積極的な広報活動の推進
 - (6) ホームページ及び広報誌等による学内情報のより一層の発信
 - (7) 高大連携協定書締結高校との連携の充実
 - (8) 福山大学・福山平成大学入試担当者と広島県東部地区高等学校教員との合同研修会の実施
 - (9) 高校訪問活動のより一層の充実及び高校毎の大学訪問の積極的受け入れ
 - (10) オープンキャンパス、出前授業等の充実や公開授業の全学的推進
 - (11) 海外の大学との交流協定書に基づく留学生の受け入れ及び新規開拓
 - (12) 同窓会（OB・OGによる業界研究会）及び後援会との連携による就職支援対策の強化

3. 広報活動の強化

ホームページ、大学要覧、高大連携広報誌「さん・サンメルマガ」、テレビCM、駅ホーム、空港デッキへの広報などの質的、量的充実を積極的に図るとともに、学部による特色をアピールした高校向けパフレットの作成、保証人への学報の配送、学長短信、学長室ブログ、学校法人福山大学宮地茂記念館を利用した入試情報の発信・進学相談、松永商店街における幟作戦の継続など、より一層の広報活動を展開する。

また、シンボルマーク及びイメージキャラクターをより活用し、広く学内外にアピールするとともに大学のブランドイメージの高揚に努める。

4. 大学教育改革等の推進

目標設定型教育プログラムである福山大学教育システムのより一層の推進を図り、全学共通教育および専門教育の充実、キャリア教育、資格取得教育のさらなる支援とそのためへの修学環境の整備充実に努める。また、新たに導入したアセスメントポリシーに基づき、学生の学修実態と成果の可視化、学科並びに大学全体としての教育目標に対する達成度の可視化を通じて教育改革を進める。

また、平成29年度に文部科学省により選定され、学生もその一翼を担う私立大学研究ブランディング事業「瀬戸内海 しまなみ沿岸生態系に眠る多面的機能の解明と産業支援・教育」の推進を中心に、「瀬戸内の里山・里海学」の確立を図り、「地域にとって頼りがいのある地域の知の拠点」となることを目指すとともに、地域の未来を創るための「未来創造人」として学生を育成することを支援する。

5. 学生のICTによる修学環境の充実

福山大学並びに福山平成大学において、全学共用ICT教室パソコンの更新及び学内無線ネットワーク機器及びインターネット接続用ルーターの更新をそれぞれ行い、教育・学修支援の更なる充実を図る。

6. グローバル化の推進

福山大学では、大学間及び学部間学術教育交流協定書に基づく海外の協定大学（アメリカ・中国・台湾・ブルガリア・ベトナム・インドネシア・メキシコ・ポーランド8か国、29大学）との交流の更なる発展・深化に努めるとともに、新規協定の締結を図る。

また、国立研究開発法人科学技術振興機構による「日本、アジア青少年サイエンス交流計画（さくらサイエンスプラン）」（平成26・27・28・30年度に採択）について平成31年度も採択を目指す。一方、海外での危機管理上の安全対策の更なる整備を行う。

7. 施設・設備の整備、充実

福山大学においては、より質の高い教育を実践するとともに、学生のコミュニケーション、キャリア形成支援など、多種多様な目的に活用する「未来創造館」新築工事を開始する。また、公認心理師養成施設「こころの健康相談センター」として使用している23号館の平成31年度計画分改修工事、内海生物資源研究所食堂空調設備の更新工事、室内野球練習場新設工事などを行い、福山平成大学においては、パソコン必携化のサポートのための5号館コンピュータ室改修工事、8号館学生食堂全面改修工事、5号館5202室、12号館12401室空調設備の更新を行うなど、両大学の学内諸施設のより一層の整備・充実を図る。

設備としては、福山大学では、学習指導要領変更に伴う教員免許取得のための体育実技用ホッピングマット等の導入、福山大学共同利用センターへのフーリエ変換赤外分光計システムの導入、学生用無線LANの一部更新、24号館CAD/CAM室のパソコンの更新、また、福山大学IRのためのデータの集約・分析用パソコンの導入を行う。福山平成大学では、骨密度検査用超音波骨量測定装置及び唾液中ストレスマーカー分析装置の更新、看護実習用機器の新規導入及び充実、12号館12103室・12304室映像設備の更新を行うなど、両大学における学生の学修環境及びキャンパスアメニティの整備・充実を図る。

また、平成30年度に寄贈いただいた宿舎（中村寮：福山市東村町字方が迫8番5、2階建5DK、敷地面積257㎡、建物延べ床面積92㎡）について、学生、教職員の学修、研修施設として利活用するために、引き続き整備・充実を図るとともに、生物工学科の植物栽培実習（ワイン醸造に使用）のために開設した、ぶどう園（福山市東村町字汁田1084番、面積1,254㎡）の整備・充実を図る。

なお、平成31年度以降の建物整備計画については、福山大学では、入学定員増にともなう内海生物資源研究所の増築工事、女子入学者増による女子寮への入寮希望者の増予想に基づく女子学生寮増築工事、福山平成大学では、教職員宿舎の老朽化にともなう建替工事等を計画している。建築時期については、現在検討中である。

8. 地域社会との連携推進

松永駅前活性化プロジェクト（通称プロジェクトM）を主体とする”学生の街、松永”の取り組みの更なる充実を図るとともに、近隣小学校の統廃合後の利活用について、地元町内会との連携協議を推進する。

学校法人福山大学宮地茂記念館、福山大学社会連携センター及び共同利用センター、福山平成大学びんご経営リサーチセンター及び地域交流センターをそれぞれ社会連携の拠点として、地域社会への貢献を果たすため、学校、病院、地元企業及び自治体等と連携して組織的、総合的な取り組みをより一層推進する。

びんご圏域における地方公共団体、大学及び企業等が連携して国際ビジネスで活躍できる人材の育成に努める。

また、学校法人福山大学宮地茂記念館において、中国の協定校である対外経済貿易大学及び上海師範大学と協力して福山大学孔子学院の運営並びに大学における中国語教育の推進を図る。

9. 教育・研究支援のための寄付金募集活動の推進

福山大学並びに福山平成大学の学術研究や教育等の充実・発展のために、福山大学においては、研究ブランディング事業他22件の研究・教育支援基金、福山平成大学においては、4件の研究・教育・地域交流支援基金を設置し、両大学のホームページの他、福山大学卒業生並びに地元企業等にも募集を呼びかけ、寄付金募集活動について、より一層の推進を図る。

10. 長期ビジョン委員会による将来構想の継続的審議の推進

福山大学並びに福山平成大学の将来構想について、引き続き長期ビジョン委員会による検討の推進を図る。

11. 既設学科の入学定員並びに収容定員の変更

福山大学において、2020年4月1日から次の学科の入学定員並びに収容定員の変更を行うため、文部科学省へ収容定員関係学則変更の届出を行う。

経済学部経済学科

（入学定員150人→170人、収容定員600人→680人）

工学部スマートシステム学科

（入学定員50人→30人、収容定員200人→120人）

12. 法人運営の充実

- (1) 学校法人福山大学の財政に関する中・長期計画の推進
- (2) 定員未充足学部・学科の入学者確保のための募集活動のより一層の支援
- (3) 監事による監査及びその支援体制の充実
- (4) 福山大学並びに福山平成大学の施設設備整備計画の立案
- (5) 福山大学並びに福山平成大学に係る教育・研究支援の拡充・充実のための支援（特色ある教育方法開発補助金、学内研究助成金及び教育改革推進事業）
- (6) 教職員の評価システムの充実

(参考) 過去3年間の入試実績

(福山大学)

年 度	入学定員	出願者数	合格者数	入学者数	充 足 率
28年度	970人	2,356人	1,543人	865人	89.2%
29年度	970人	2,373人	1,560人	894人	92.2%
30年度	970人	2,481人	1,578人	900人	92.8%

(福山平成大学)

年 度	入学定員	出願者数	合格者数	入学者数	充 足 率
28年度	340人	749人	566人	294人	86.5%
29年度	340人	664人	503人	303人	89.1%
30年度	340人	646人	481人	293人	86.2%

(別紙)

平成31年度 学校法人福山大学諸行事の日程

月	法人	福山大学	福山平成大学
4	理事懇談会(上旬)	入学式(3日) 前期授業開始(8日)	入学式(4日) 前期授業開始(11日)
5	理事会・評議員会 (下旬)	開学記念日(15日)	開学記念日(15日)
6		入試説明会(上旬) 進路別セミナー(上旬) 見学会(下旬)	入試説明会(上旬) 進路別セミナー(上旬) 見学会(下旬)
7	理事会(中旬)	体験入学会(中旬) 前期授業終了(26日) 前期定期試験(27日～8月5日)	体験入学会(下旬)
8		夏季休業開始(6日) 体験入学会(下旬) 指定校(スポーツ強化)入試第1回(下旬)	前期授業終了(2日) 前期定期試験(3日～9日) 夏季休業開始(10日) 体験入学会(下旬) 指定校(スポーツ強化)入試第1回 (下旬) 保証人懇談会(下旬～9月上旬) 見学会(下旬)
9		A0入試第I期(上旬) 教育懇談会(上旬～中旬) 見学会(中旬) 夏季休業終了(20日) 後期授業開始(21日) 公開講座(下旬～11月上旬)	夏季休業終了(15日) 後期授業開始(18日) 公開講座(中旬～10月下旬)
10	理事会(下旬)	指定校入試(上旬) 指定校(スポーツ強化)入試第2回(上旬) 指定校(グローバル人材強化)入試第1回 (上旬) 指定校(会計・経営人材強化)入試第1回 (上旬) 指定校(芸術・メディア表現枠)入試第1回 (上旬) A0入試第II期(中旬) 大学祭(三蔵祭)(25日～28日)	指定校入試(上旬) 指定校(スポーツ強化)入試第2回 (上旬) 指定校入試(資格推薦方式)第1回 (上旬) A0入試第I期(上旬) 大学祭(御幸祭)(18日～21日)
11		推薦入試A日程(上旬)	推薦入試A日程(上旬)
12	理事会・評議員会 (中旬)	推薦入試B日程(上旬) 指定校(スポーツ強化)入試第3回(中旬) 指定校(グローバル人材強化)入試第2回 (中旬) 指定校(芸術・メディア表現枠)入試第2回 (中旬) 指定校(会計・経営人材強化)入試第2回 (中旬) 授業終了(20日) 冬季休業開始(21日)	推薦入試B日程(上旬) 指定校(スポーツ強化)入試第3回 (中旬) A0入試第II期(中旬) 指定校入試(資格推薦方式)第2回 (中旬) 授業終了(20日) 冬季休業開始(21日)
1		冬季休業終了(4日) 授業開始(6日) 入試センター試験(18日～19日) 後期授業終了(30日) 前期入試A日程(下旬～2月上旬)	冬季休業終了(7日) 授業開始(8日) 入試センター試験(18日～19日) 後期授業終了(30日) 前期入試A日程(下旬～2月上旬)
2		後期定期試験(4日～15日) 指定校(スポーツ強化)入試第4回(中旬) 指定校(グローバル人材強化)入試第3回 (中旬) 前期入試B日程(下旬)	後期定期試験(4日～14日) 指定校(スポーツ強化)入試第4回 (中旬) 前期入試B日程(下旬)
3	理事会(中旬)	春季休業開始(1日) 後期入試(中旬) 見学会(中旬) 学位記授与式(卒業式)(20日)	春季休業開始(1日) A0入試第III期(中旬) 後期入試(中旬) 見学会(中旬) 学位記授与式(卒業式)(21日)